

富谷市記者会見【資料 1-②】

令和 3 年 8 月 25 日

教育部学校教育課

担 当：三浦

連絡先：022-358-0521

東北初の文部科学省による不登校特例校指定

不登校特例校「富谷市立富谷中学校西成田教室」の開設

文部科学省から指定（令和 3 年 7 月 30 日付）を受け、令和 4 年 4 月に不登校特例校「富谷市立富谷中学校西成田教室」を開設いたします。

平成 28 年 12 月「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立し、国及び地方公共団体による不登校特例校及び教育支援センターの整備並びにそれらにおける教育の充実等のための必要な措置を講ずることが努力義務となりました。

本市では、これまでも不登校児童生徒への支援として、教育支援センターや各学校での学び支援教室などを整備・充実させてきました。この度の西成田教室の開設は、不登校生徒のためのさらなる支援を行い社会的な自立を支援する場となります。教科ごとの教員を配置し、特別の教育課程を編成して意図的・計画的な教科指導を少人数や個別の形態で実施するもので東北初の取組となります。

西成田教室は、昭和 49 年富谷小学校の統合で閉校となった旧西成田小学校の校舎を活用している「西成田コミュニティセンター」内に設置します。西成田コミュニティセンターは、里山の自然豊かな環境であり、様々な自然体験や地域の方々との交流も行える環境が整っています。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ記事に取り上げていただきますようお願いいたします。

記

1. 対象生徒 富谷市内に在住し、市立中学校に在籍している生徒(次年度入学予定の児童も含む)で、原則年間 30 日以上欠席している場合
2. 生徒募集 令和 3 年 9 月より開始。募集定員は 20 名程度を予定。



【西成田コミュニティセンター】

昭和 49 年、富谷小学校との統合により、閉校した校舎を、平成 23 年、当時の面影を残して改修工事を行い、現代の近代的な施設にはない、自然の中で活動のできる施設としています。また、毎年、夏祭りや運動会、プール運営などを行っているほか、子供会やスポーツ少年団の活動や宿泊のできる施設として、積極的に利用され、新しい富谷市のコミュニティづくりの拠点となっています。



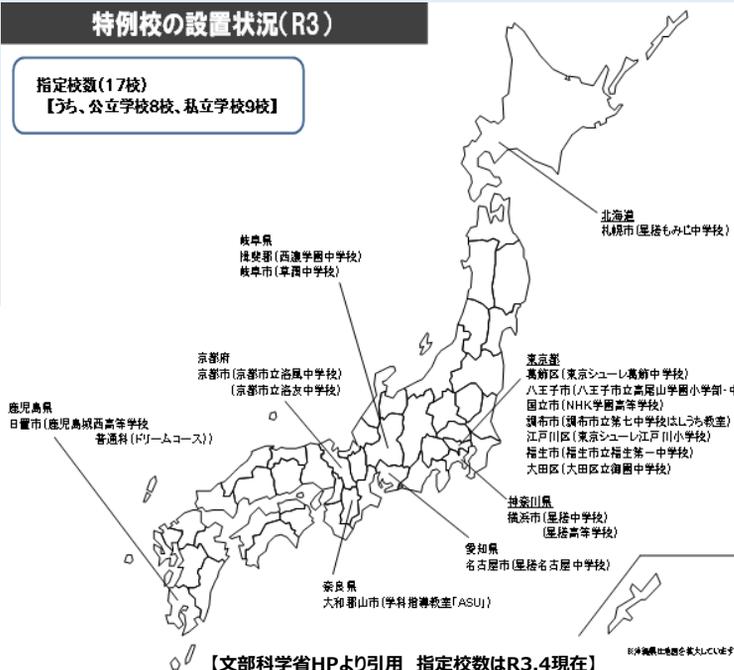
〔「不登校特例校」とは〕

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要があると認められる場合、文部科学大臣が学校教育法施行規則に基づき指定する学校。

【参考】H28.12.7「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が成立し、不登校児童・生徒に対して実態に配慮した特別に編成された教育課程に基づく教育を行う学校の整備、教育の充実のために必要な措置を講ずることが努力義務とされた。

特例校の設置状況 (R3)

指定校数(17校)
【うち、公立学校8校、私立学校9校】



■ 教室名・設置場所

教室名 富谷中学校西成田教室
住所 富谷市西成田郷田一番94番地
西成田コミュニティセンター〔旧西成田小学校〕内に設置する。校舎西側に教室を設ける。

■ 富谷市の不登校についての現状

【小学校8校】【中学校5校】

- 小学校・中学校ともここ数年、不登校の出現率が高止まりしている。県の平均を上回る学校も多くなってきている。
- 別室登校や教育支援センターに通所して学習している児童生徒もいるが、様々な理由から欠席が続く児童生徒が多く見られる。

■ 現在の支援体制

令和3年4月より、「富谷市教育支援センター」を開所した。市内の児童・生徒が通所、12名のスタッフで来所支援、学校支援、家庭支援、相談支援を行っている。また、各学校では、別室登校や学び支援教室を設置し学習支援を行っている。

■ 不登校特例校のねらい

これまで行ってきた児童・生徒の実態に応じた学習支援について、専任の教員がより意図的・計画的な教科指導を少人数や個別の形態で実施することにより、学ぶ楽しさと成長する喜びを味わわせ、一人ひとりの社会的自立に結び付けていく。

■ 不登校特例校の構想

令和4年4月、「分教室型」の中学校不登校特例校を開設する。対象は、富谷市に居住する中学生20名程度を想定する。教職員の配置は、県教育委員会が配置した教員及び市教育委員会が配置する職員となる。不登校特例校は全国で17校指定 (R3.4月現在) されており、東北では初である。

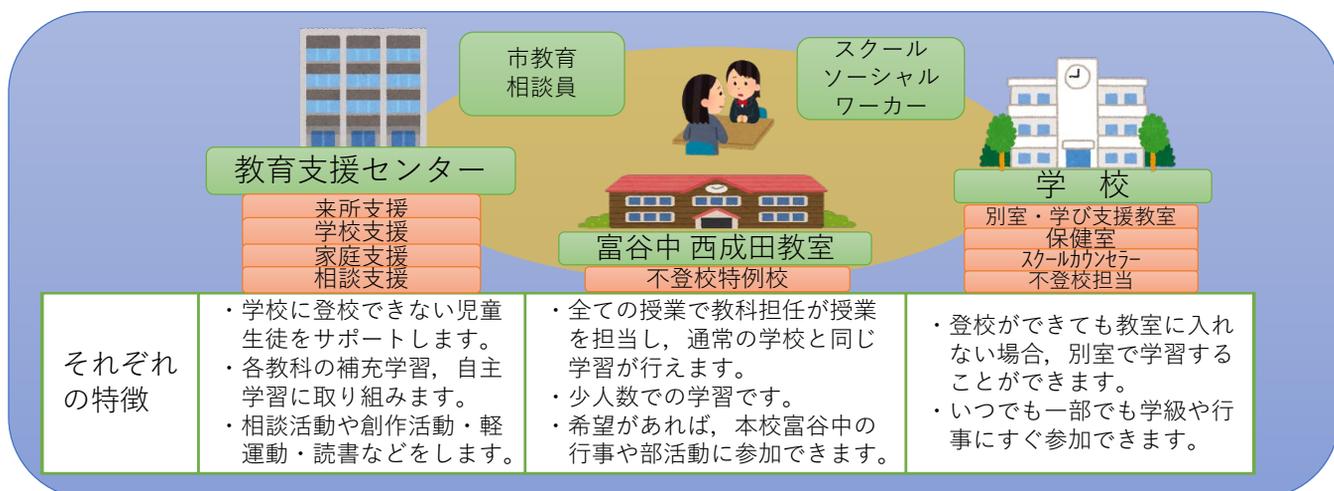
■ 不登校特例校の概要

里山の自然豊かな環境の下、様々な体験をすることが可能である。特別に編成する教育課程は、各学年の年間総授業時数1015時間を維持しながらも、総合的な学習の時間を増やし、横断的で柔軟に実施する。本市で取り組んでいるSDGs達成のテーマなどの学習をICTを活用して展開する。



不登校特例校 富谷市立富谷中学校 西成田教室

■ 富谷市の不登校支援



■ 西成田教室の入室対象となる生徒

富谷市立中学校に在籍する生徒（次年度中学校に入学予定の児童を含む。以下同じ）のうち次の各号のいずれにも該当する者が申請することができます。

- (1) 富谷市に居住していること。
- (2) 年間30日以上欠席をしている生徒
※年間30日未満の不登校傾向の生徒でも入室適当と判断する場合があります。ご相談ください。
- (3) 西成田教室に通いたいという意思がある生徒

■ 西成田教室の特徴

- 教科ごとの教員免許を持つ教員が配置され、各教科、領域の授業を通常の学校と同様に受けられる。
- 各学年の定員は6人程度。少人数で一人ひとりに合わせた学びができる。
- 「総合的な学習の時間」を多く設定し、自分の興味・関心に合わせた学習ができます。富谷市で取り組んでいるSDGs達成のテーマなども学習の対象にしている。
- 里山の自然と触れ合ったり、地域の方々との交流を行ったりする環境が整っている。
- 教育環境設備が充実している。一人一台タブレット端末やネット通信環境、大型モニタなど、通常の学校と同じ学習環境が整っている。また、西成田コミュニティセンターの施設も借用可能なため、学びの場を広げることができる。

■ 西成田教室の配置

